
魔法少女リリカルなのは ある暇人の転生記

夢幻天星

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは ある暇人の転生記

【Nコード】

N6563X

【作者名】

夢幻天星

【あらすじ】

ある男 御剣一真（みつるぎかずま） は電車事故に遭いその人生を終えた……

……そっからなんか神様が現れて、なんかテンプレみたく転生させてくれるらしい、

それから来たのがリリなのの世界！？ナイスな選択じゃないか！しかもチート能力だって！？うわぁお、……こうなったら原作ブレイクしまくるぜ！……暇になったら、

転生するようです、（前書き）

この作品は駄作者の初作品です、また、更新が遅くなるかもしれません

皆様、なにとぞこの駄作者を生暖かい目で見守っていてください、

転生するようです、

（???）

真つ白な空間で俺はただ一人佇んでいた、

「・・・・・・・・・・は？」

イヤマテ落ち着け、素数を数えるんだ・・・・・・・・・・

「俺中二だからわかんねえ！！」

フツツに分からん！！なにがどうなて

「ふおつふおつふおつ目が覚めたようじゃの。」

うおおおう！？後ろに見知らぬ老人がいた！

「ん？てか俺・・・・電車に・・・・」

ひかれたよな、うん、すっげえ痛かった覚えあるし、

「そうじゃ、御主は死んだのじゃ、」

な、ナンダッテー！ まあわかってたが、・・・・ってうん？

「もしかして心読めてる？」

「そうじゃ、なんたつてわしは神じゃしの、」

「ふーん・・・・で？」

いや、・・・・まさかな？

「めっちゃすまなかつた！！」

うええ！？これまた華麗にジャンピング土下座しやがったあ！！

「もしかして・・・・」

「そのとおりじゃ！御主はわしのミスで死んだのじゃ！」

あゝあれね、てんぷら・・・・もといテンプレの転生ね、・・・・

リアルであつたんだ、

「すまない！！わしがコーヒーをを御主の名が書き込まれた書類に

「ぼしてしまった！」

やはりか、うんもう驚かない、

「それで？転生？」

「ごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさい」

うわなんかヤヴァイ

「おい聞いてます？」

「ごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさい……」

「で、転生ですか？」

「まあそうじゃ、……どうにする？」

うん……ISだろ、ガンダムだろ、仮面ライダーだろ

「リリなの!!」

うん。これだな、面白いし、

「リリなのか、……能力もつけれるがどうする？」

おお、チートとかいいなあ、

「んじゃ、魔力靈力氣力EX王の財宝、全スペルカード使用可能、ドラクエとファイナルファンタジーの魔法、全仮面ライダーに変身可能、デバイスはヒュッケバインmk-3が基本でAIがアラド・バランガ、ドラクエとファイナルファンタジーの魔法あ、全口ボツトにも変身可能にしてほしいな、」

俺の好きな物詰め合わせだよ？悪いかな？

「ちつと多いがまあ、こっちの責任じゃしのう、」

「それじゃ、始めるぞー」

「りょーかい、」

原作介入？するに決まってる、

「うおっ、なんかねむ……………」

急にまぶたが重くなり俺の意識は途切れた……………

転生するようです、
(後書き)

えつと夢幻天星です、
まだ名前は出ません、
まああらすじには出てますが、

主人公設定

- ・名前 御剣一真
- ・性格 超気まぐれ
- ・能力 王の財宝

全仮面ライダー変身可能

デバイスで全ロボット変身可能（AIはアラド・バランガ）
ドラクエとファイナルファンタジーの魔法

- ・魔力 EX

く神によつて殺された転生者、いつもやる気があればする、なければしないという

超が二乗するほどの気まぐれである、だがやる気がある時は持っている能力をフルに使って介入する、

- ・デバイス名 アラド

・一真のデバイス、元ネタはスパロボのアラド・バランガである、原作通りの性格でAIにするには難ありという感じだが
ニュータイプでありパーソナルトルーパー、ビルトビルガーを操り数々の大戦をくぐり抜けているエースパイロットである、

こんなもんです、

「おお、俺結構チートだな、」

「とういかなんで俺がAIなんだ？作者、」

俺が好きだからだ、うん

「へへサンキュー」

んじゃ、しめっか、

第二話「転生一日目」

「「「お楽しみに！……」」」

転生二日目（前書き）

はい、すこし遅くてすいません。

転生一日目

く???く

「むう……知らない天井だ……」

某アニメの台詞をつぶやきつつオレ、御剣一真は目を覚ました。

「……よし、転生したな。」

……あら?

「なんか小さくなってる!？」

なにがどうな

「そりゃあ今、小学三年だしな、」

!?

「うおお!？」

そこには、スパロボのあのキャラドア「……こほん、アラドがいた。」

「いきなり大きな声出さなって!びっくりしたじゃんか!」

「いやぁ……いきなり出てきたしな……」

考えてみる、ゲームの主人公が目の前にいんだぞ?

「知ってると思うけど、俺はアラド・バランガ、よろしくな!」

ていうか声も同じだなー神グツジョブ!

「でー俺らはリリなのの世界に来たわけだが……」

「……どうしよう、」

うん、どうする?

プランA、何か技の練習、

プランB、翠屋にGO!

プラン

♪Anything Goes!〜本気だして〜戦うのなら〜負ける気しないはず〜!

「ん？・・・ってオレの生前のケータイじゃん、」

「おiPhone4か、」

「もしもし、」

「わしじゃ、」

「何か用すか？」

「いや、説明じゃ、」

「??」

「送った後気がついたんじゃが、ガンダムの姿で宝具やスペルカードを使うのもどうかと思ったから普通のバリアジャケットも入れておいた、」

「あざーす」

「あと、王の財宝に御主の生前の持ち物とロボットの追加装備を入れておいた、」

「・・・なんか魔改造されてる？」

「まあ、何かあったら連絡するがよい、」

「わ、わかりました・・・」

ぷつ、

「・・・翠屋でいいか、」

そして俺らはあの白い悪m・・・ゲフンゲフン、主人公、高町なのはに会いに翠屋に行った。

転生二日目（後書き）

えゝ着メロは仮面ライダーオーズの「Anything Goes
！」です。

主はライダー好きなのでライダーネタやらなんやら使っています。

魔王のお店にいったようです(前書き)

はい、第二話更新です

魔王のお店にいったようです

〔町中〕

「・・・ここだな。」

「入ってみようぜ!」

俺は翠屋に来ている。

からんからん、

「いらっしやいませ!」

うおっ魔王!

「??(なんか失礼なこと言われた気がするの・・・)」
とりあえず少し挨拶して席に座る。

「・・・シュークリーム五個と紅茶を、」

「俺はショートケーキとコーヒー!」

「かしこまりました!」

「・・・うまいね・・・」

「なんかユウキ隊長思い出したぜ・・・」

ん?なのはがこっち見てる、あれ?まだ原作開始前じゃ・・・

「ここのあたりでは見かけないけどこの子なの?」

「いや、最近ここに引越して来てな。こいつも同じようなもんだ、」

「ふゝん・・・私、高町なのは!あなたは?」

「俺は御剣一真。」

「俺、アラド・バランガ!」

「あらあら、なのは、もう仲良くなったみたいね、」

「こんなかつこいいボーイフレンドが二人も出来るなんてなあ、」

えゝつと士郎さんと桃子さんだったな、てかめちゃくちやわっけえな、

「うん!」

「いえいえ、かつこいいなんて・・・」

「いい線いつてると思うぜ？」

・・・そうかねえ？・・・さて、そろそろ帰るか、

「じゃあそれでは、」

「またきてね！」

お会計お会計・・・とお兄さんにらまないでください、とつとと退散しますよつと、

「んじゃな、」

「うん！またね！」

魔王のお店にいったようです(後書き)

10月30日いろいろ修正しました、

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6563x/>

魔法少女リリカルなのは ある暇人の転生記

2011年11月11日21時26分発行